

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	家電量販店（店長）	・地上波デジタル放送がけん引役となり、映像商品については、買換えが促進される傾向にある。
	やや良くなる	百貨店（売場主任）	・早めに晩夏物の商品を導入して、活性化を図る。この秋はトレンドも活発になり、全体の雰囲気からも景気が良くなる。
		コンビニ（店長）	・現在の好調は天気の後押しを受けてであるが、水物、アイス以外の商品で雑貨や菓子、加工食品等も動き出しており、全体的に底上げしているの、このまま自力での回復につなげたい。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車の投入により、来客数の増加が見込める。
		乗用車販売店（販売担当）	・ホテル関係について、今後2～3か月で地元銀行の不良債権処理が進み、それが終われば景気も多少良くなる。観光地であることから、今までは観光業に従事する客を対象としていたが、現在はそれ以外の客をターゲットに広告、宣伝を行っており、上向きとなっている。
		一般レストラン（経営者）	・一般の家族連れ客、会社関係の客が徐々に戻ってきているので、多少期待できる。
		旅行代理店（経営者）	・前年度と比べ、来客数、受注件数が若干上向きになっている。客単価は変わらないものの、問い合わせは増えているのでやや良くなる。
		タクシー運転手	・これからは夏祭りや花火大会など、様々な催物があるので人が出てくる。
		通信会社（営業担当）	・オリンピックや10月からの地上デジタル県域放送を目前にして、デジタル景気が上向いてくる。まだ高級であるデジタルテレビやDVDが売れてくれば、景気の起爆剤にもなる。
		ゴルフ場（副支配人）	・例年にない猛暑で外でのレジャー産業は大きく打撃を受けている。秋はその反動で良くなる。ただし、値引き合戦の激化から単価は厳しいままである。
		住宅販売会社（経営者）	・住宅ローン減税の時限措置の期限が年内なので、駆け込み需要があると見込んでいる。
	変わらない	商店街（代表者）	・テレビ、新聞では、景気が上向きというが、実感はない。商店街は店舗が少なくなり、いつまでもつかと心配している。
		商店街（代表者）	・商店街から徐々に夜の灯が消えていっている。7月も一軒花屋が出て行き、180メートルの商店街で既に5軒も空家となっている。非常にお先真っ暗で良くなる要因はない。
		スーパー（店長）	・夏が夏らしい気候であるということが功を奏して、夏物商品はアイスクリーム、飲料を中心に好調である。アイスクリームは毎日最低でも前年の120%以上売れている。8～9月も暑さが続くということで、秋物への不安はあるが、夏物が好調に推移し、先月と同程度の数字を達成できると見込まれる。
		スーパー（統括）	・消費者物価が下がり続けていることから、景気回復基調があっても売上は上昇してこない。商品単価は総額表示の値ごろ感創出の要因もあり、今後も更に下がり続ける見通しである。また、今年の農作物の出来具合も消費動向に影響してくる。
		コンビニ（経営者）	・秋口の中華まん、おでん等の展開を早めに立ち上げ、積極的に客にPRし、その後のレベルアップのためのベースを作ることが必要不可欠である。
		衣料品専門店（経営者）	・郊外の大型店との競争にまだ勝てないので変わらない。
		住関連専門店（店長）	・ここ数か月の売上推移をみても、前年を大きく上回る動向はみられない。また猛暑の影響で、今後の夏物商戦は見込めない。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・新商品発売のピークが終わり、いち早く機種を変えたいというユーザーへの販売は、このままだと落ち込むところであるが、値下げによる需要の掘り起こしを行うため、現在とあまり変わらない販売量となる。
高級レストラン（店長）		・客のニーズの多様化や分散化が激しく、短期的には変わらない。	
観光型ホテル（経営者）	・猛暑が落ち着けば、前年並みかそれよりも悪くなると見込んでいる。		

	都市型ホテル（スタッフ）	・ 婚礼の入込状況、集宴会の先の予約状況があまり良くない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・ 都心部では景気が回復しつつあるという話だが、地方はまだその段階にはない。今まで営業していた店がなくなり、いろいろな新しい店が入って町並みが変わりつつあるので、今後に期待している。
	旅行代理店（営業担当）	・ 農村地帯である当地域では農産物価格の低迷が大きく響いて、旅行のように必要ではない消費に関しては、乗車券の購入など、最低限の消費しか回ってこない。その傾向は今後も変わらない。
	タクシー運転手	・ 今以上に売上が伸びる要素が見当たらない。いかに現状維持できるかが課題である。
	観光名所（職員）	・ 今後も暑い日が続き、客の入込は例年以上と思われるが、スーパー等で買物をして自分の別荘等で過ごす人が多く、ホテル、レストランの売上は例年並みで変わらない。
	ゴルフ場（従業員）	・ 予約状況が前年とほぼ同じなので変わらない。
	設計事務所（所長）	・ 企業の景気が少々良くなっても、なかなか工場、事務所の改築等の設備投資までは回らない。個人の収入が良くなれば、個人住宅の改築等に期待が持てるが、全体的にあまり急には変わらない。
	住宅販売会社（経営者）	・ 金利が上がりに始めている中で、土地価格が下げ止まったと判断した客が購入に積極的になる感覚はあるものの、反応が出るのは最低半年後と見込んでいる。まずは返済の見通しを立てるほうが先決である。
	住宅販売会社（経営者）	・ 不動産に対する銀行融資、ローンの審査が依然として厳しく、ローンを組めない客がかなりいるので仕事が動かない。
やや悪くなる	スーパー（経営者）	・ 全体的には、前年並みの売上を維持しているが、新たに出店した大型店が徐々に定着してくるので、売上、利益の減少は避けられない。
	コンビニ（経営者）	・ 8月に他のコンビニが近所にオープンするため、かなり厳しくなる。
	衣料品専門店（店長）	・ 中心部のショッピングセンターの改装オープン時期となるために、多少影響を受ける。
	衣料品専門店（販売担当）	・ 来街者の中で、年金生活者に関しては、年金を受けとった直後の動きは比較的良いが、その他は良い材料が全くない。ここにきて地元銀行の不良債権処理問題が出てきたので、今後も厳しい台所事情が続く。
	家電量販店（店長）	・ 3か月後はオリンピックも一段落し、現在好調である夏物の反動が出ると見込んでいる。
	一般レストラン（業務担当）	・ 8、9月の納涼企画（生ビール祭り、ハワイアン祭り、夏のジャズライブ等）の予約状況が前年実績を下回っている。また、前年より夜6時以降の客が少ないので、今後はやや悪くなる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・ 増築してから16年がたち、ホテル館内がかなり古くなっている。銀行借入が困難であるため、自己資金で修繕を行わなくてはならない。少しでも改善しないことには若い世代の婚礼客を獲得できないと大変危惧している。
	美容室（経営者）	・ 例年9月の祭りが終了すると売上が落ちる。今年は前年に比べて全般的に悪く、今後2～3か月は更に悪化する。
	その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・ 家族の人数に合った乗用車や軽自動車を持っていた人が、軽自動車にシフトしたり、3台を2台に減らしたりと、経費の負担減に努めている。自家用車の車検も余裕をもった入庫は少なく、有効期間間近まで行わないような状況である。
	設計事務所（所長）	・ 3か月後の受注のめどがはっきりとついていない。企画の要望はいろいろあるが、企画倒れが増え、実際仕事になる確率が低くなっている。
	悪くなる	
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	
	食料品製造業（製造担当）	・ 新規取引先の開拓、確保により売上、利益は確実に前年より良くなる見込みである。
	化学工業（総務担当）	・ 一般の商品は横ばい状態であるが、半導体関連では多くの受注を抱えており、残業でカバーする状態から、一部二直体制を組んで対応する方向に進んでいる。
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・ 取引先各社とも現在の発注量が落ち込むことはない。更に秋口から、増産が見込める自動車部品、油圧機器部品や、新規量産品として立ち上げる自動車部品を抱えているので、やや良くなる。

	その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	・客の設備投資意欲がおう盛であり、今後は投資案件が増加する見込みである。	
変わらない	一般機械器具製造業 (経営者)	・建設機械関連部品は多少減少するが、自動車関連部品が増加し、現在と変わらない作業量となる見込みである。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・7～9月に大量の受注が入り、前年同月比で売上が倍となる。9月以降は分からないが、9月までは十分に仕事があり順調となる。	
	精密機械器具製造業 (経営者)	・受注の引き合いが多いが、受け入れ態勢が整っていない。	
	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	・在庫整理をしながら不景気を乗り切ってきた卸、小売店では、新たな品ぞろえにまだまだ抵抗感があり、攻撃に出る転機を図りかねている。うまく波を捕えられるかどうか鍵となる。	
	輸送業 (営業担当)	・夏休み中はレジャー用品等の輸送量は確保できる。今後、季節の変わり目に入り、各業種とも物量が落ち着いて前年並みとなる。	
	金融業 (経営企画担当)	・観光業では浜名湖花博の影響もあり、外国人観光客が増加している。製造業においては受注は増加傾向にあるが、収益面では厳しい状況もあり、本格回復には時間がかかる。総じて変わらない。	
	その他サービス業 [放送] (営業担当)	・サービス業、流通業からの新規スポットコマーシャルが出てきているが、長期の大口コマーシャルが見込めず、売上、利益とも伸びが見込めない。	
やや悪くなる	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・通年、受注の谷間にあたる時期で、特に良い情報もないので対応策を検討している。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・業種によって格差は大分あるが、現在のところ受注予約が少ない。	
悪くなる	建設業 (総務担当)	・業績が大変厳しい。例年7月15日支給の夏季賞与も30日まで伸ばして支給したが、34歳平均で9万9千円である。これでは個人消費どころではない。事業の見直しが迫られている。	
雇用 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社 (経営者)	・最近、会社から求人が多く、人を探するのが大変である。遊んでいる人もそういないので、なかなか見つからない。
		人材派遣会社 (営業担当)	・観光地に来る客やJRの乗客へのアンケート調査などが単発的に発生している。大手ショッピングセンターの新規開店に伴う従業員の雇用代行業務の発注などもあることから、消費の安定拡大傾向が感じられる。 ・最近の若者はフリーターが増加しているが、その中からいかに企業の求める人材を確保するかというのが、派遣業界にとって急務となっている。当面PRの徹底、休日の派遣登録日設定などで対応する予定である。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	・周辺中小企業はメーカー等の下請が多く、今後は請負の仕事量が増加する見込みである。
		学校 [短期大学] (就職担当)	・地元新聞社等主催の合同就職面接会への参加企業は前年比10%増 (計75社) で、求人数も約5%増加している。求人内容は電気機械、精密機械など製造業を始め、情報、介護関係など専門的な技術を要するものや、アミューズメントなどサービス関係が目立ち、学生が望む事務、販売関係は前年の約半分で、学校あての求人もほぼ同様の状況である。
変わらない	求人情報誌製作会社 (経営者)	・一部の製造業は好調であるが、全体的にはどの業種もまだ厳しい状態である。	
	職業安定所 (職員)	・求職者の減少、求人数の増加傾向は変わらないが、企業整備が小規模ながら月に数件出ており、一概に良くなるとは言いつれない。	
	職業安定所 (職員)	・新規求人の中で、大量求人が望めないで変わらない。	
	職業安定所 (職員)	・産業別にみると、前月に比べ一部製造業や運輸業で求人数が増加しているが、製造は請負や派遣などのいわゆる非正規社員の求人が約半数を占めている。卸、小売業の求人は減少しており、採用面での厳しさがうかがえる。	
やや悪くなる	人材派遣会社 (経営者)	・生産関係の注文数はかなり減少してきているので、生産調整をしながら求人、求職者数の様子を見て採用可否を決めると周辺企業からも聞いている。住宅関連、電子関連においても引き続き求人募集をしながら生産調整を行い、ある程度人員を維持していくという考えが強い。	
悪くなる	-	-	